



市民の声を市政に反映

杉森ひろゆき

市議会議員 ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行
723号 2018年8月28日
 〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8
 TEL・Fax：870-0335
 携帯：090-5587-7693
 Mail：sugimori@max.hi-ho.ne.jp

御坊市視察研修

新エネルギーパーク

杉森議員が幹事長を務める市議会
 会派「市民クラブ」は6月、三重県伊
 賀市、南伊勢町、和歌山県御坊市を視
 察研修。担当者からの説明と質疑応答
 と、関連施設と議場を見学。御坊市で
 は商店街空き店舗対策と新エネルギー
 パークについて視察研修しました。



ソーラーゴーカートも走る

本願寺の日高御坊から

御坊市は、和歌山県の中部に位置し、和歌
 山県紀中・日高地域の中核都市である。熊野古
 道にも位置する。人口約24,000人であり。市
 名は、浄土真宗本願寺（現在では西本願寺）
 の日高御坊（現本願寺日高別院）が約400年
 前に建立され、地元民がそれを御坊様と呼び
 親しんだことに由来する。主産業は農水の第
 一次産業である。

商店街空き店舗対策

商店街地域及び寺内町周辺にある空き店舗
 の利用促進や市街地の高齢者の買い物場所の
 確保、また若者等を含む新規企業者の出店等
 を促進するため、同市は補助制度を設けた。

2018年第3回 牛久市議会定例会予定 (すべて9月、開会時刻は午前10時)

3日	月	開会、議案提案理由説明
5-7日	水-金	一般質問
10日	月	議案質疑、委員会付託
11-13日	火-木	決算特別委員会
14日	金	総務常任委員会
18日	月	教育民生常任委員会
19日	火	産業建設常任委員会
21日	水	質疑・討論・採決、閉会

補助の条件として、おおむね週の半数以上
 昼間の営業を主とすることがあることに関し、
 居酒屋などは対象外になるのではと質問。

商店街の古くからの住民の意見も考慮した
 結果とのこと。空き店舗活用補助は60万円、
 空き店舗改修費補助は50万円が上限。今のと
 ころ、利用者はいないとのことである。

EEパーク

御坊市は太陽光、風力などの新エネルギー
 を身近に感じてもらおうと日高港新エネル
 ギーパーク（愛称「EEパーク」）を開設。

小型ハイブリッド発電装置も設置され、全
 長120mのソーラー・ゴーカートのコースで
 は、子どもから大人まで楽しめる。

PR館では、自然の営みや新エネルギーの
 原理を用いた未来の街のイメージを、ジオラ
 マ・オブジェで表現した「ネイチャーエナジ
 タウン」を展示。新エネルギーについてゲー
 ム感覚で学べるコーナーもある。

施設の由来を質問すると、もともと関西電
 力が開設・運営していたもので、関電から譲
 渡されたとのこと。近くに火力発電所もある
 が、小型のため経営上の理由から休止中との
 こと。

拡大する西日本大豪雨被害 鮮明になってきた政治の責任

2018年7月10日 日刊ゲンダイ

9日、安倍首相が11日から予定していた欧州・中東への外遊を中止すると発表した。西日本を中心とする豪雨被害の全容もまだ分からない状況では、当然のことだ。なぜ、もっと早く中止を決めなかったのか。

豪雨による被害者の数は増え続け、10日時点で死者132人、行方不明者は70人を超えている。豪雨と土砂に沈んだ町が手つかずの衝撃。ようやく救助や捜索が始まった地域もある。生存率が著しく下がるとされる「発生から72時間の壁」を迎える中、安倍政権の豪雨災害対応があまりにヒドいと、批判は広がる一方だ。

気象庁は5日の午後2時には、臨時会見で記録的大雨の恐れがあるとし厳重警戒を呼び掛けていた。すでに住民への避難指示も

出ているその日の夜、安倍が議員宿舎で開かれた自民党議員との懇談会に参加し、酒盛りに興じていたことに怒りの声が上がっている。参加議員がSNSに投稿した写真には、笑顔で乾杯する安倍や小野寺防衛相、上川法相らの姿がある。豪雨災害の危険が強まり、翌日には元オウム真理教幹部7人の死刑を控えている政権の面々とは、とても思えない。

批判が拡大していることを受け、自身も会合に参加していた竹下総務会長は、9日になって「どのような非難もお受けする」とか言っていたが、毎度のことで、こんなのポーズだけ。会合を延期するという常識的な判断すらできない政権に、マトモな災害対応ができるものか。この間の対応を見れば、今頃になって安倍が「全力であたってもらいたい」と指示したところで、鼻白むだけなのである。

■災害対応より総裁選が大事か

「議員宿舎で自民党の若手議員が閣僚や党幹部と懇談する『赤坂自民亭』は15年4月に始まり、今回が27回目だったようですが、安倍首相の出席は初めて。9月の総裁選に向けた選挙活動の一環でしょう。3選が確実になってきた総裁選と外遊の準備で浮かれ、災害対応にはまったく思いが至らなかったのでは

はないか。8日ようやく非常災害対策本部を設置して、『先手先手で被災者支援にあたって欲しい』などと言っていました。その時点ですでに後手後手で、危機管理能力の欠如を露呈しています。安倍首相は何かにつけて民主党政権の東日本大震災への対応を批判してきましたが、安倍政権のお粗末な災害対応は、民主党を批判できるようなレベルではありません」

(ジャーナリスト・横田一氏)

安倍は9日も、公邸に自民党の静岡県議を招いて会食。総裁選での地方票固めの一環だ。会食では静岡名産のメロンが話題に上り、安倍は「静岡のメロンは非常においしい」と言って、TPPで静岡の農産物を海外に広めることを提案したという。

未曾有の災害で、食べるものにも困っている被災者がいるというのに、メロンか。

この非常時に選挙対策とは、やはり安倍は被災地のことなんて興味がないのだろう。

北朝鮮がミサイルを飛ばせば、すぐさまJアラートで国民を叩き起こすくせに、平成最悪の豪雨被害はまるで他人事。この初動の遅さ、鈍さはいったい何なのか。

さすがに、いま自衛隊を革命記念日の軍事パレードに参加させるためにパリに連れて行くわけにいかず断念したようだが、外遊もギリギリまで可能性を探っていた。災害対応より、総裁選や自己アピールの方が大事とみられても仕方ない。

